

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金
令和4年度 第4回理事会議事録

1. 開催日時 令和5年3月20日(月) 13時30分から14時50分
2. 開催場所 福井大学(文京キャンパス)
学生交流センター プロジェクトラーニングスペース
3. 出席者 理事総数 12名
出席理事 7名
理事長 細谷龍平
理事 黒原繁夫, 西東一彦, 高屋雅樹, 松下晋也,
山口淳治, 山田 聡
監事総数 2名
出席監事 2名
監事 諏訪光宏, 堂 裕司
陪席者 2名
一葉正樹(福井県総務部大学私学課主事)
勇上瑞希(福井市商工労働部観光文化局文化振興課副主幹)

4. 議 題

(1) 審議事項

- 第1号議案 クリスマス事業の総括と今後の方向性
第2号議案 令和5年度事業予算案
その他

5. 定足数の確認

理事総数12名中7名の出席があり、定足数を満たしていることを確認した。

6. 議事概要

(1) 審議事項

第1号議案 クリスマス事業の総括と今後の方向性

理事長から令和4年度直営事業として行ったクリスマス事業「幸福の足袋」について、令和2、3年度に行った「福井で見るサンタの夢」事業とあわせた3年間の総括して報告した(本事業と連動していた福井大学国際地域学部のグリフィス関係PBL活動の3年間の成果報告書を参考資料として配布)。これらの事業を通してウィリアム・E・グリフィスと日本初の公のクリスマスパーティについての認知度は4年度の間福井県内でそれぞれ28%から53%、2%から27%に上がり、本「幸福の足袋」は計139冊販売、県外でも単発的には全国メディアで取り上げられるなど、そこそこの成果があったと評価し得るとし、次年度以降も引き続きこの趨勢を維持ないし徐々に拡大するよう努力を続けたいと述べた。

今後の方向性としては、以下の3点を提案した。1点目として、クリスマス事業「幸福の足袋」について、理事長自らは福井を離れるので基本的にリモートで関与することになるが、事業の実働部隊になってもらえる一部の連携先関係者との非公式な連絡会を立ち上げ、特に福井市文化振興課とグリフィス記念館には今までの事業で蓄積した資料とノウハウを引き継いで、連絡を取りつつ活動を継続していく予定であると述べた。2点目として、助成事業については、従前の基金の厳しい財政状況に鑑み、2年前から交流支援事業をグリフィスの認知度向上に具体的に繋がる事業に限定し、かつ、

ポストコロナの新しい国際交流のあり方を見据えてオンラインによる交流の部分への支援に限定した助成を行ってきた(但し、グリフィスの顕彰に直接繋がる事業はオンラインに限定していない)が、令和6年度以降については助成先からの要望もあり、オンライン部分への限定は若干緩和する方向で見直したいと述べた。3点目は、令和6年度以降の新たな直営事業として「グリフィス・スカラシップ(仮称)」の構想を説明し、方向性についての下承を求めたいとした。これは、グリフィスの顕彰と同時に青少年の国際交流促進に寄与する事業として、当基金の二つの目標を満たしており、現に当基金の設立当初にはしばらく行われていたと聞いている。また最近の福井県の政策目標である優秀な外国人の県内定着、および福井大学の第4期中期目標・計画の国際化面の優先課題である優秀な正規留学生の確保とも合致するものである。このスカラシップは日米双方向での交流を対象とし、福井県内の全大学・高等学校とアメリカの大学(特にラトガース大学)の学生・生徒を対象とする。応募の基本要件は①優秀な学生であること、②留学先で学位を取得すること、③グリフィスに関心を持ち、その足跡を調査・研究し報告書を提出することの3点としたい。具体的な内容については、各理事、監事、陪席者からの意見を踏まえ、さらにラトガース大学を含む関係方面と協議して検討していきたいと述べた。

理事長から以上で述べたクリスマス事業の総括及び今後の事業の方向性について、各理事、監事、陪席者から発言を求め、種々の意見や応援の意思表示が成された。特に反対の意見は無く、クリスマス事業の総括及び令和5年度事業(案)を含む今後の方向性について下承された。

第2号議案 令和5年度予算案

事務局から、資料に基づき、令和5年度事業計画(案)について説明があった。まず、2月28日開催の助成対象事業の選定に関する審査委員会で承認された助成事業5件、助成額計124万円を説明した。その後、当基金直営事業の内容について説明し、令和5年度の事業費予算は合計238万円になると説明した。

事務局から、令和5年度予算案について資料に基づき、事業費、管理費の各予算、並びに資金調達及び設備投資の予定はない旨を説明した。

全員異議なくこれを承認した。

以上をもって、議事を終了し、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、出席した理事及び監事は、次のとおり記名押印する。

令和5年3月20日

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金

議長 代表理事(理事長) 細谷 龍平 印

監 事 諏訪 光宏 印

監 事 堂 裕司 印